

事業名 長島地下駐車場・地下歩道整備事業

単に安全で便利な交通対策施設というだけでなく、市民参加の事業計画による市民が開かれた、快適で創造的な地下空間を取り入れた公共施設事業の推進

受賞機関 建設省東北地方建設局青森工事事務所

事業実施期間 平成5年10月～平成9年9月

事業費 9,000百万円

技術等の特徴と評価

交通渋滞の緩和のための駐車場と歩行者の安全確保のための地下歩道を併設したもので、特に、地下歩道の市民が開かれた空間づくりの検討にあたり、市民を中心とした委員会を組織し、雪国青森市において十分暖かみを感じられる空間を考慮したデザインや障害者、高齢者に配慮した「人にやさしい」施設づくりを行い、さらに「長島市民ギャラリー」については市民によるボランティアによって企画運営された点が評価される。

事業の概要と効果

青森市は、国道4号、7号が結節する県庁所在地であり、県内でも屈指の多交通量地域である。長島地下駐車場は、この地域における路上駐車による交通渋滞の緩和を図り、路上駐車に関連した事故を減少し交通の安全を図ることと、これに地下歩道を併設し、国道横断の歩行者の安全確保と、悪天候においても快適な歩行者通路を

確保することを目的としている。

この施設の整備にあたっては、地域の人たちに利用できるよう、本事業の情報公開を行い、市民の施設開放について検討した。

市民が開かれた空間づくりの検討にあたって、学識経験者、商工会議所、町内会等により構成する、「長島地下道景観整備検討委員会」を設置、地下歩道設計のための基本コンセプトに基づく、地下歩道のデザイン設計、将来の利用方法、身障者・高齢者に配慮した人にやさしい施設づくり等の検討を行った。

検討内容は、

- ・地下歩道のデザインは、視覚的・心理的効果に配慮した色彩、形態に考慮し、十分暖かみの感じられる空間であることも考慮に入れた設計とした。シンプルな空間ながら壁材、タイルに暖色系を取り入れ、照明等にも工夫をこらした。
- ・地下歩道の将来の利用方法については、「長島市民ギャラリー」（市民のための美術館）として一般の美術愛好家に作品展示スペースを開放するとともに、地下歩道を通行する市民に気軽に美術作品に親しむ機会をつくることを目的とし、作品展示のためのショーケース、壁画コーナー等を整備した。
- ・身障者・高齢者に配慮した「人にやさしい施設づくり」の取組みとして、現地での説明を含めた意見聴取を繰り返し、各障害に応じた様々な点での工夫を行った。視覚障害者への配慮として音声案内、点字案内、視線誘導ブロック等の案内誘導や高齢者・肢体不自由者への配慮としてエレベータ、車椅子用専用トイレ、電話、階段の2段手摺り等を設置した。

効果として、100台（身障者用2台）駐車可能な本駐車場の完成に伴い、路上駐車減少による交通渋滞の緩和・事故防止等の交通の安全が図られるとともに地域商店街等の活性化にも貢献した。

また、歩道壁面を利用した「長島市民ギャラリー」は市民によるボランティアによって企画運営が行われ、市民から寄せられた絵画、版画、陶芸等の美術作品が展示され、市民の憩いの場、話題のスポットとなっている。現地で身障者から数回にわたって意見を聞きながら整備した地下歩道は、高齢者、身障者にも安心して利用できる施設として好評である。



地下歩道

受賞賛助会員 鹿島建設(株)東北支社